



佐世保市立中里中学校
学校だより No. 30
発行日 R6. 1. 25
発行者 眞弓 健一

創

【校訓】 自主・実践・創造
【学校教育目標】
学び合い、磨き合い、鍛え合う生徒の育成
中里中ホームページ



～自律し、笑い合い、助け合う学校へ～

来週から2月スタート ～学年のまとめをしよう～

今週は24日(水)に朝から積雪があり、久しぶりの雪に歓喜の声をあげて登校してくる生徒が多数いました。幸い事故もなく大雪の峠を越えた感じです。3年生は多くの生徒が私立高校の入試を受験し、雪の対応で日程が変更になった高校がありました。受験の大きなトラブルはなく、それぞれの生徒は力を出し切ったと思います。

来週で1月も終わり、2月がスタートします。早速2月1日・2日は公立前期試験です。1・2年生は中旬にテストが控えています。各学年の復習をしっかりと行い、テストに臨んでほしいと思います。

「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし」

この言葉は、プロ野球の野村克也元監督の名言として知られる言葉ですが、元々は平戸藩主「松浦静山」の言葉です。意味は「勝つときは運(ビギナーズラックなど)で不思議と勝つときがあるが、負けるときは必ず原因と理由がある」ということです。この静山公は大名でありながら武道の達人で、弓道・柔術・馬術・砲術を修練していたそうです。静山公が書いた「剣談」で、この言葉の後、さらに以下のように語られています。

道を貴び術を知れば心勇ならずといえども必ず勝つ。
道に背き(そむき)術に違えば必ず負く。

『自分を見失って「道(ルール)」に背けば必ず負ける。そして「負け」には必ず理由と原因がある。負けた原因を分析して過ちを繰り返さないこと。そして、逆に「道(ルール)」に従えば必ず勝つ。しかし「勝ち」には不思議な勝ちがあるから、常に身を引き締めて何故勝てたのかを分析する必要がある。』と教えています。受験を控えた3年生の皆さん、県新人大会、各種大会、6月の市中体を控えた1・2年生の皆さん、先人の教えを胸に刻み、日々の生活を充実させ、それぞれの本番を迎えてください。

□給食週間 1月24日～30日 「感謝の心」を形に！

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。本校では、「給食に関わる方々に感謝し、食べることや自分の食生活などについて見直す意識を持たせる。」ことを目的に、給食に携わる方々に感謝の手紙を書きます。

毎日、当たり前のように給食を頂いていることに感謝し、今後もおいしい給食を出していただけるよう心のこもった手紙を贈ってほしいと思います。

【2月の行事予定】

- 1日(木) 公立前期選抜試験
3年生4校時終了後下校
(3年生給食なし)
- 8日(木) 前期選抜合格発表
3年生は給食後下校
- 15日(木) 1・2年生実力テスト
1・2年生は給食後下校
- 16日(金) 1・2年生実力テスト
- 21日(水) 1年生授業参観・懇談会
- 22日(木) 2年生授業参観・懇談会